

令和4年度 【神戸市】認知症地域支援推進員活動報告

【神戸市】の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：117名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・認知症ケアパスの配布（区、地域包括）
 - ・認知症サポート医、認知症疾患医療センター等との連携
 - ・認知症ライフサポート研修の企画・運営（区、地域包括）
 - ・「高齢者安心登録事業」（行方不明の心配がある高齢者の事前登録、メール配信事業）における申請受理、利用者本人との面談（地域包括）、登録情報管理・メール配信（市社協）
 - ・認知症初期集中支援事業における対象者の抽出、チーム員（医療・介護推進財団、市社協）、初期集中支援チームとの連携（地域包括）
 - ・認知症カフェの後方支援
 - ・認知症高齢者等声かけ訓練の企画・実施（区、地域包括）

報告者氏名：神戸市福祉局高齢福祉課 川口雄大
（具体的活動報告）：ありのあんしんすこやかセンター

認知症の人にやさしいまちづくり条例の4つの柱にそって、施策を展開

予防及び早期介入

- ・ WHO、神戸医療産業都市、大学、研究機関等との連携による取り組み

地域の力を豊かにしていくこと

- ・ 交流できる環境や社会参加の場の整備
- ・ 中学校区単位での認知症高齢者等への声かけ訓練の実施
- ・ 行方不明高齢者早期発見事業の実施
- ・ 市民への啓発、児童、生徒への教育の推進

【取組例】

認知症カフェ（34か所）、認知症サポーター（約13万人）、認知症ケアパスの作成・配布、認知症地域支援推進員の配置（117人）、高齢者安心登録事業（捜査協力者約720名登録）、行方不明者緊急保護事業、認知症高齢者等声かけ訓練

治療及び介護の提供

- ・ **早期診断体制の確立**
- ・ 認知症初期集中支援チーム
- ・ 認知症疾患医療センター（市内7か所に設置）

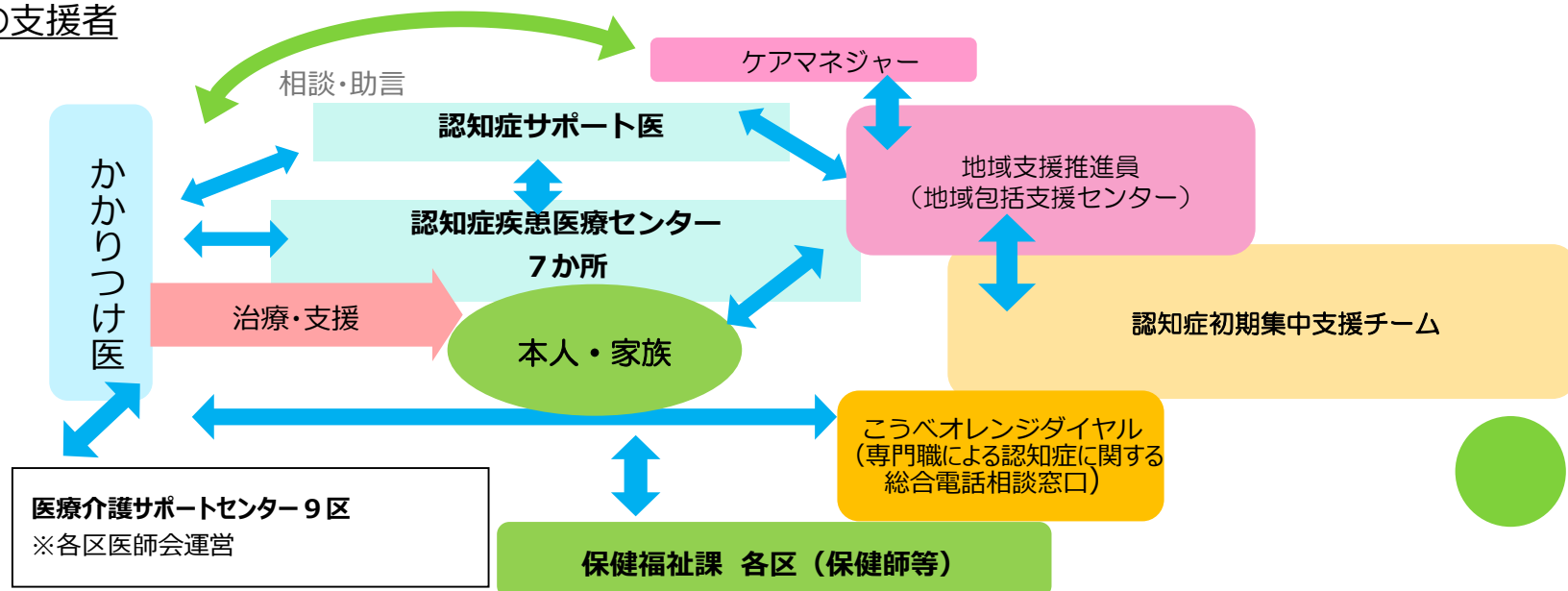
事故の救済及び予防

- ・ **認知症と診断された人による事故に関する救済制度の創設**
- ・ 認知症の疑いがある人の運転免許自主返納推進
- ・ 移動手段の確保等、地域での生活支援

◎その他の社会資源

- ・ KOBEみまもりヘルパー事業（介護保険外サービス）
- ・ 若年性認知症事業（デイサービス等職員・ケアマネジャー向け研修、交流会・サロン（神戸市社会福祉協議会・老人保健施設主催の2か所））
- ・ 県警による取組み（支援対象者情報提供制度）

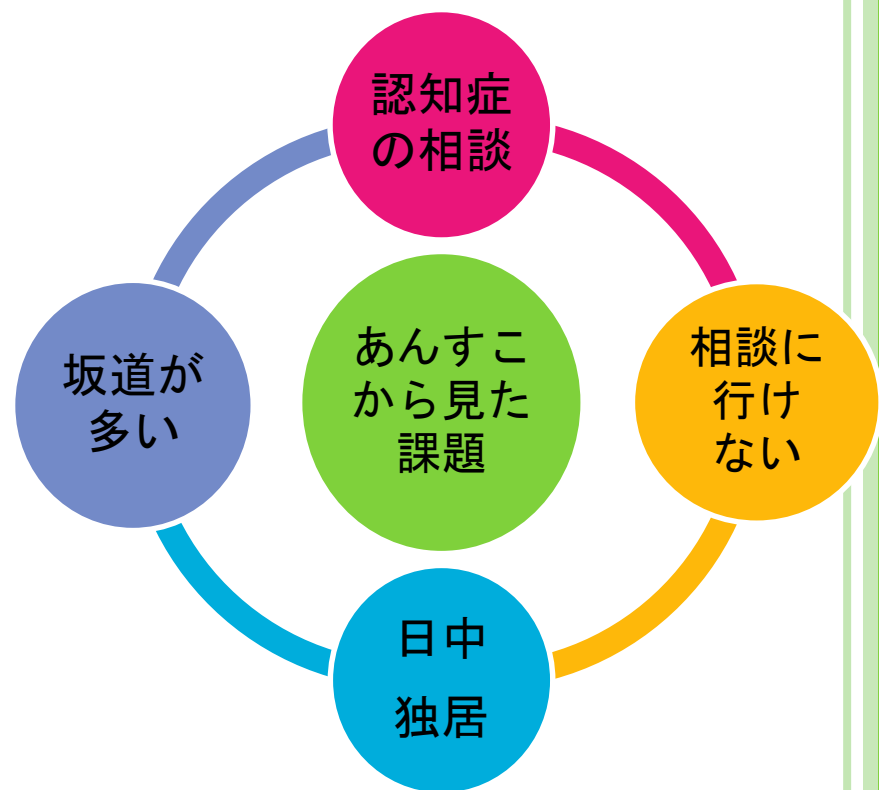
日常の支援者



標題 地域の認知症の課題を知り、認知症予防に取り組んだ事

開催準備 (令和3年6月)

「センターが取り組んだこと」
地域ケア会議を開催する前に
地域の方にアンケートを実施



○アンケートの結果

- ・ 困った時に相談する場所が分からない
- ・ 外出の機会がなくなった（少なくなった）
- ・ 筋力、体力が低下したように感じる、転びやすくなった
- ・ 他者と交流がない

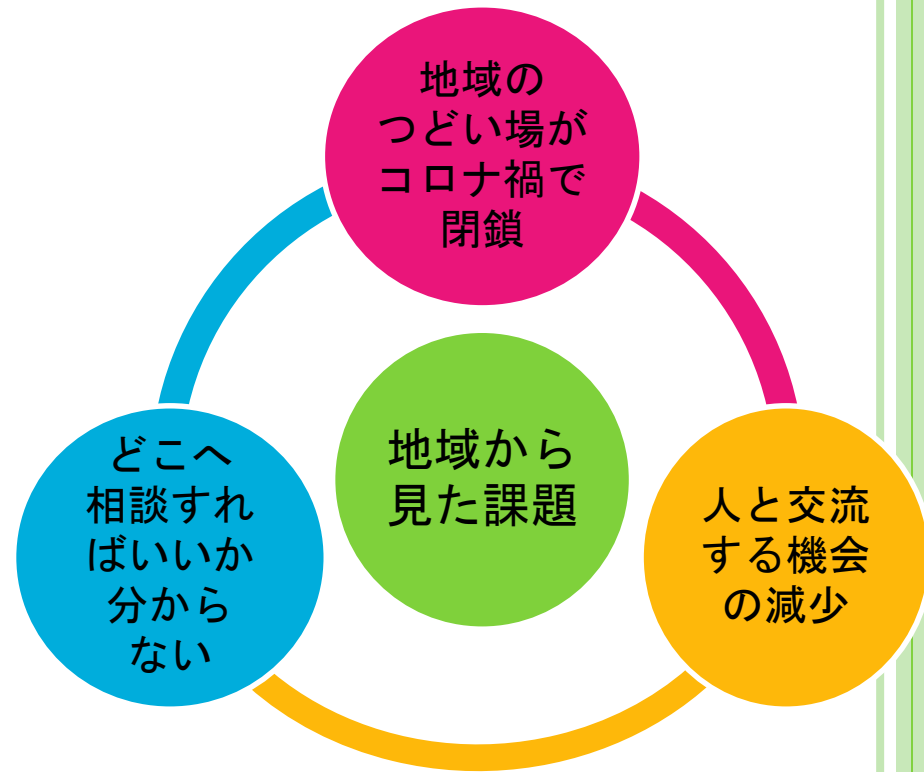
地域ケア会議開催 (令和3年10月)

テーマ：「地域の課題を知る」

- ・ 地域の実情を知る。
- ・ 今後安心して地域で生活していくために地域として取り組むことを考える。

参加者：

ふれあいのまちづくり協議会、ボランティア、
婦人会、老人会、PTA、民生委員、
北神区役所保健福祉課、北区社会福祉協議会



地域ケア会議の内容と結果

認知症の
相談

相談に
行けない

北神聖和台ふれあいのまちづくり協議会
ありのあんしんすこやかセンター



心配ごと相談コーナー

を開設します

1月26日(水)
午前10時~12時
西山地域福祉センター

月1回 第4水曜日 午前10時から12時 ※祝日は、お休みします。
あんしんすこやかセンターのスタッフと民生委員が、
皆さんの心配ごとの解決のお手伝いを！ お気軽にご相談下さい！
※「あんしんすこやかセンター」とは、地域包括支援センターの神戸市での愛称

※センターに来られる時は、
スリッパご持参・マスク着用をお願いいたします。
新型コロナウイルス感染症対策をしています。 連絡先：☎・FAX 951-5666



①

出張相談会の開催

- ・ 毎月第四水曜日の午前中に実施

- ・ 令和4年1月より始まった出張相談会
→地域の情報交換の場となる。
「近所で見かける心配な人がいる、どう声かけしていけばいいのか」
「担当している方が何度も同じ質問で自宅を訪ねてくる」など
- ・ 認知症の声かけ訓練について話が持ち上がった

活動実施報告

認知症声かけ訓練の 実施

日 時：令和4年10月24日（月）
10時～12時

場 所：A1地域福祉センター 会議室2部屋

参加者：14名

（内訳：ふれあいのまちづくり協議会、自治会、
民生委員児童委員、小学校PTA、
中学校PTA、青少協、ボランティア、
北神保健福祉課、
ありのあんしんすこやかセンター）

内 容：2回目の認知症サポーター養成講座
（60分）
声かけ訓練（40分）
2パターンに分かれて1人2分で実演



認知症声かけ訓練を 終えて

結果：実施後のアンケートより

- ・ 認知症についてより理解が深まった。
- ・ 声かけは思ったより難しく2分が
とても長く感じた。
- ・ 地域に関心を持って困っている方がい
たら勇気を出して声をかけていきたい。



あんしん
すこやか
センターの
職員全員が
交代で地域へ
出向いていく



民生委員等
との
情報共有



地域と
あんしん
すこやか
センターの
距離が
近くなった

2年目の成果

地域の実情を知ることができた

対話を続けることで
取り組みを継続することができた



○最後に・・・

○成果

- ・ 民児協と共同で開催している月 1 回の出張相談会に参加することで、地域の困り事をキャッチして認知症声かけ訓練に繋げる事ができました。
- ・ ふれあいのまちづくり協議会の協力により、子育て世代の参加など幅広い世代の方に参加してもらえました。
- ・ 地域の課題を抽出し、地域とセンターと一緒に課題解決に向けて働きかけを行う事ができ、関係性の構築に繋がりました。

○最後に

- ・ あんしんすこやかセンター職員が地域に出向いていくことで顔の見える関係が構築できました。
センターとして今後も本人、家族、地域、関係機関をつなぐ「架け橋」の存在でありたいと思っています。
- ・ 認知症の方の支援は専門職だけでは難しく、地域の方の理解と協力が不可欠です。
「認知症にやさしいまちづくりの推進」のために、今後も地域の声をキャッチして関係機関との連携を図り、素早い支援に繋がっていきたいです。